

7月

月間指導計画

0歳児



保育目標		夏の暑さに負けず、健康に過ごす。 沐浴など、少しずつ水に触れてみる。			
子どもの姿		夏の疲れから、体調を崩す子どもも増えてきた。 あせもやおむつかぶれなどが起きやすくなっている。 保育者の声掛けを喜び、コミュニケーションを楽しむ様子が見られるようになっている。			
年間区別		ねらい	環境・構成	予想される子どもの活動	配慮事項
養護	生命	汗をかいたらふき取ってもらうなどして、清潔に過ごすことを気持ちよく感じられるようにする。	汗拭きタオルの準備をし、汗をかいたらすぐに拭き取ったり着替えたりできるようにする。	積極的に戸外遊びを楽しむ。 汗をかいたりおむつかぶれが起きたりして機嫌が悪くなることもある。	子どもの様子をしっかりと観察し、肌のトラブルが見られた時には家庭に伝え対応策を考える。
	情緒	保育者に欲求を満たしてもらいながら、心地よく過ごせるようにする。	室温・湿度に留意し、快適な環境の中で、特定の保育士とゆったりかかわれるようにする。	夏の疲れから、眠くなったり機嫌が悪くなったりする。	特定の保育士がかかわるようにして、ひとりひとりの生理的欲求を満たせるようにする。
教育	健康	生活リズムを整えてもらいながら健康に過ごす。	疲れが見られるときには適度な休息をとる。 やかんを用意し、適宜、水分補給ができるようにする。	暑さのため汗をかいたり顔や体が火照ったりする。 疲れて眠くなってしまいうもいる。	個々の子どもの様子をしっかりと観察し、子どもに合わせて休息や水分補給を行う。
	人間関係	保育者に見守られながら、安心して遊ぶ。	子どもからの働きかけに迅速に応えることで、安心感を与えるられるようにする。	好きな遊びを見つけてひとり遊びを楽しむようになる。 保育者に話しかけて応えてもらうことを喜ぶ。	ひとり遊びをしているときには見守る。 子どもからの働きかけに応答的なかわりをしていく。
	環境	水の感触を楽しむ。	個々にタライを用意し、水を張っておく。 じょうろなど、水の動きを楽しめる玩具を用意する。	水面をバシャバシャと叩いて感触を楽しんだり、水の動きに驚いたりする。 水を怖がる子どももいる。	水を怖がる時には無理強いをせず、離れたところから様子を観察したり、コップの水に触れたりして徐々に慣れるようにする。
	言語	喃語や一語文、身振りなどで保育者に気持ちを伝えようとする。	子どもの言葉を繰り返ししたり、身振りを代弁したりして言葉を知らせていく。 簡単な言葉の絵本を繰り返し読む。	特定の保育士に気持ちを伝えようとする。 好きな絵本を見たり保育者に読んでもらおうとしたりする。	まだ言葉のない子どもにもゆったりと話しかけ、言葉を知らせていく。
	表現	色水遊びを楽しむ。	色水と容器を用意する。 各自が自由に混ぜ色を楽しめるように多めに準備しておく。	好きな色を使ってこぼしたり混ぜたりして自由に楽しむ。	色の変化の不思議さに気づけるよう、言葉にしたり様々な混ぜ色を作ったりして興味を持てるよう工夫する。
食育		個々のペースに合わせて離乳食の段階を進めていく。	子どもの様子を見ながら、適宜つぶしたりカットしたりして提供することができるようにする。	よく食べる子どもでも食材によって食べ辛さを感じることもある。	月齢が進めるのではなく、個々の成長や家庭での進め方に合わせて対応していく。
健康・安全		水遊びをする際には直射日光に当たらないよう日よけを用意する。 適宜水分補給を行い、熱中症予防に努める。			
保護者支援		汗拭きタオルを用意していただく。 肌トラブルが起きた時には保護者に伝え、適切な対処方法を共有する。			